

平成19年度 大阪府養護教育研究会総会

本年度大阪府養護教育研究会総会は、平成19年5月10日（木）アウイーナ大阪 生駒の間において、18年度河田会長が4月17日になくなられたことが伝えられた後、開始されました。坂ノ上会長代理の挨拶の後、来賓の大阪府教育委員会障害教育課、太田課長から祝辞をいただき、議長として、本年度南河内支部の養護教育研究会の中学校の代表をされる松原市立松原中学校の乾 茂 校長が選出されました。

平成18年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告、規約改正と滞りなく議事が進行し、新役員選出、役員選出経過報告がなされ、平成19年会長は坂ノ上泰博校長（摂津市立第三中学校 平成18年度副会長一会長代理）が就任しました。新役員の就任挨拶の後、今年度事業計画案、予算案が提出され、それぞれ承認されました。

すべての総会次第終了後、小田浩伸氏（大阪大谷大学准教授）の講演会がおこなわれました。テーマは「特別支援教育の新しい展開と課題 ー支援体制と支援の実際ー」でした。われわれ教師が実際に活動する現場の実態を踏まえた、分かりやすく、非常に役立つ内容でした。

今回、会場が満杯となり、席が足りず、あわてて座席を追加する事態となり、参加された方には大変ご迷惑をおかけしました。講演資料も是非欲しいということで不足分を急遽追加させていただきました。なお、参加者には府養研DVDを全校配布に先駆けて進呈させていただきました。貴重な論文の他、教室で使える教材や支援グッズも多数入っておりますので、ご活用下さい。6月半ばまでには、全校配布も完了する予定です。このDVDは55周年参加者にも進呈されます。

